

浜岡原子力発電所4号機 ゴミによる一時的な出力抑制について

平成 19 年 7 月 17 日

発生号機	浜岡原子力発電所4号機(定格熱出力一定運転中) : 沸騰水型、定格電気出力113.7万キロワット
発生年月日	平成19年7月15日
発生時の状況	<p>19時45分頃、取水槽(1)に設置されている除じん機(2)で、冷却用の海水が流れにくくなったため、運転操作手順書に従い19時53分より出力降下を行い、電気出力を113.8万kWから約97万kW(20時16分)まで低下させました。</p> <p>現場を確認したところ、大量の草、木、海草等のゴミが流入していることが確認されました。このことから、冷却用の海水が流れにくくなった原因は、流入したゴミの量が、除じん機の処理能力を超えたためと判断しました。</p> <p>その後、ゴミの流入が減少したことから、7月16日1時20分より出力上昇を開始し、同日、1時54分に定格熱出力一定運転に復帰しました。</p>
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
お知らせ基準	「表2-20」に該当します。

- 1 取水槽は、タービンで仕事を終えた蒸気を冷却するための海水を取り込む設備です。
- 2 除じん機は、取水槽で海水からゴミやクラゲ等を取り除く装置です。

なお、本事象については、[発電所ホームページ:運転状況公開画面](#)にも掲載しております。

以上

取水槽と回収されたゴミ(草、木、海藻等)

